

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善 すべき点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			子どもの特性に応じた組み合わせを考え、時間差での支援や他の部屋の確保をしている
	②	職員の配置数は適切であるか		○		支援する人員は多く手厚いが、場所と人の動きをさらに工夫する必要がある
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			個室の設置による空間整備、絵カードやスケジュールの活用による情報伝達など、子どもの状況・状態に合わせた環境設定を行っている
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日の清掃を丁寧に行うよう心がけている また、活動にあわせてスペースが広くとれるように工夫している
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			一日の振り返りを毎日行い、職員が参画努力をしている
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者にご協力いただいたアンケート調査の結果(公開中)をもとに、今後の業務改善につなげていく
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			(公開中)
	⑧	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価を行っていない
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間計画をたてて外部研修に参加するほか、内部研修を組み立てて進めている
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			個別支援計画はアセスメントや保護者との面談を行って作成し、保護者の同意を得て支援を行っている。よりきめ細やかな対応を心がける。

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			子どもの発達を考慮した独自のアセスメントツールを作成して、使用している
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			ガイドラインに沿った形で、それぞれの子ども状況・状態に合わせた支援内容を設定している
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			支援計画をもとに支援を行っている
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日案、週案を作成して対応している
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			支援計画に基づきプログラムを作成している。ケース会議等で見直ししながら検討している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			個別活動、小集団での活動のほか、併設する保育室とのインクルーシブな環境の下での交流活動も合わせた支援計画を作成している
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日の動き、活動内容、場所などを確認してから支援を行っている
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りを毎日行い、情報交換・共有を行っている
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録をとり、継続した支援につなげている
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			ケース会議や面談等にて確認し、適宜見直しを行っている
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		相談支援事業所からの会議要請がない

関係機関や保護者との連携	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			問い合わせ等があれば対応している
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				(対象児不在)
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				(対象児不在)
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者を通して情報共有を行っている子どもと保護者の要望に対応し、保育園等との連携に積極的に取り組んでいる
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			保護者を通して情報共有を行っている学校に見学に行くなど、情報共有を積極的に働きかけている
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修に参加している
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			併設の保育室と頻繁に交流の機会がある
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			事業所連絡会に参加している
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談以外に、担当者が送迎時などに保護者との情報共有に努めている
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		プログラムという形態はとっていないが、保護者に寄り添いながら日常生活の中での支援の方法等をアドバイスしている。今後も継続していく。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			重要事項説明書を作成し、これをもとに説明を行い確認している。質問等については、随時丁寧に対応していく。

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			作成した支援計画を面談などで保護者に説明し、同意を得ている
	③④	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者に寄り添いながら助言等を行い、支援につなげている
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者交流会の開催を検討している。法人主催の行事等には参加を呼びかけ、交流の場として情報提供している。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		苦情対応に関する掲示、第三者委員やご意見箱の設置など、苦情に対応する体制を整えている。重要事項説明書の中でも周知している。相談や申し入れに対しては誠実に対応していく。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			『デイだより』を定期発行し、情報発信に努めている
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			外部への持ち出し禁止を徹底している
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時に担当者等が保護者への説明を行い、保護者の意見等の聞き取りも行っている。今後も丁寧な対応を心がける。
非常時等の対応	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			併設する保育室・学童クラブ合同のイベントを開催している
	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		マニュアルを一部修正して職員間で確認し、書面にて保護者に周知している
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			児童デイ独自で、あるいは併設する保育室や学童クラブと合同で、毎月避難訓練を行っている。3施設全体の避難訓練も年2回開催している。
	④④	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			面談時のアセスメントで確認するとともに、日々の送迎時に必要な情報を保護者から聞き取っている
	④⑤					

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書を確認するなどし、必要があれば配慮している
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			日々の振り返りで報告し合い、情報共有を行っている
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			関連する資料の読み合わせを行っている
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				(対象児不在)